

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより平成24年6月25日発行



7月の主な行事予定

7月 7日(土)

中部人権教育懇談会(PTA対象)(北栄町北条農村環境改善センター)

7月 8日(日)

鳥取県PTA指導者研修(中部地区)(倉吉体育文化会館)

7月11日(水)

全県社会教育関係者研修会(倉吉体育文化会館)

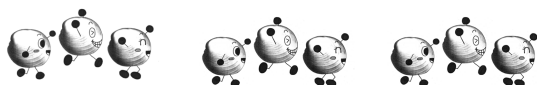
7月24日(火)

人権・同和教育担当者会(倉吉市関金町 地蔵院)

7月10日から8月9日は「部落解放月間」

部落解放月間は、「同和对策事業特別措置法」が施行された昭和44年7月10日を記念して、鳥取県が翌年の昭和45年に制定しました。

鳥取県では毎年7月10日から8月9日の期間中、各市町村や関係機関と連携しながら県民一人ひとりが同和問題を正しく理解し、認識を深めていただくよう、講演会や研修会など様々な啓発活動を行っています。



中部地区でも、この部落解放月間に併せて講座、懇談会が開催されます。今後も情報提供していきますので、御参加ください。



解放月間のマスコットキャラと似ていると評判の「ちゅうぶくん」です。

部落解放月間
7月10日～8月9日

みんなの願い
差別のない社会
人権尊重の社会

みんなで播こう!!
住みよい鳥取県。

7月10日(火) 入場無料
「マンガと偏見の複雑な関係」

会場 米子市文化ホール(米子市米子町293)
時間 午後1時50分～3時30分
講師 吉村 和真さん(鳥取県立大学マンガ学部准教授)
【問合せ先】鳥取県人権推進課(同和対策課) TEL:0857-26-2973

ざんぶらこっこ!ハイキング!竹細工!

第34回「中部地区少年少女のつどい」の報告

平成24年6月3日(日)に倉吉市関金町の大山池とやまもり温泉キャンプ場を会場として、倉吉グレートライオンズクラブと共催で「中部地区少年少女のつどい」を開催しました。

小学生72名、中・高校生ボランティア8名、スタッフ45名、計125名が活動しました。

最初に、やまもり温泉キャンプ場で、開会式と仲間づくりゲームをしました。

次にゴムボートでの800mの用水路くだり「ざんぶらこっこ」をしました。そのあと、ハイキングをして大山池まで移動しました。

大山池では、BBQコンロを使って竹筒御飯づくりに挑戦しました。うまく炊けたもの、焦げついたもの、生煮えになったもの、結果は様々でしたが、おいしくいただきました。

竹細工では、班付リーダーの指導の下、竹とんぼ、菜箸、鉛筆立てと子ども毎に工夫していました。

残念だったことは、雷注意報がでたため、池に雷が落ちる可能性を考慮し、急遽カヌー体験を中止したことです。

しかし、天候はなんとか持ちこたえ、雨も雷も落ちることなく、爽やかな初夏の体験活動となりました。



好天のなか、緊張の面持ちで開会式



はやく行ってよ

ぶつからないでよ

こうやって削るだけ。

炊けたかな?

まだかな



東伯郡社会教育協議会総会開催

表彰「湯梨浜町 松原厚子さんと琴浦町 大賀靖浩さん」

平成24年6月21日（木）に中部総合事務所において東伯郡社会教育協議会総会が開催されました。

今年度の東伯郡社会教育協議会表彰は、湯梨浜町教育委員会推薦の松原厚子さんと琴浦町教育委員会推薦の大賀靖浩さんでした。松原厚子さんは、鳥取県青少年育成推進指導員として、また、読み聞かせボランティアや放課後子ども教室のコーディネーターとして青少年活動の地域リーダーとして活躍されています。大賀靖浩さんは、24年間の長きにわたり、特に文化財行政の推進に尽力してこられました。その後、大賀靖浩さんから実践発表をしていただきました。



表彰を受ける松原厚子さん



表彰を受ける大賀靖浩さん

実践発表「国指定特別史跡 齋尾廃寺跡について」

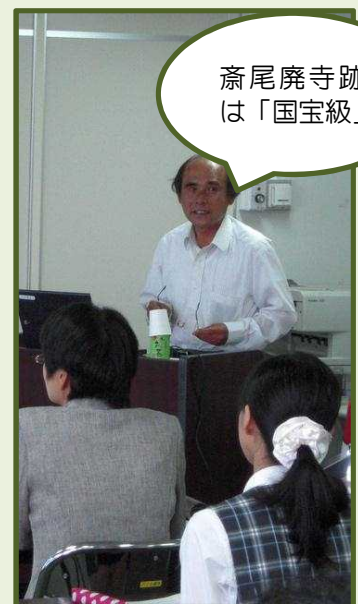
琴浦町教育委員会 社会教育課 大賀 靖浩さん

齋尾廃寺は、琴浦町にある白鳳時代に創建された寺院跡であり、昭和27年から国指定特別史跡となっています。特別とつく国指定は史跡の他にも、特別天然記念物などありますが、国宝級と考えていただければと思います。

昭和62年から平成元年にかけての調査で東西160m、南北250mの溝で区画された4万㎡に及ぶ規模が確認されました。

また、法隆寺式の伽藍配置であること、鴟尾、瓦などの出土物から近畿圏、大和王朝の影響を強く受けていることがわかってきました。

しかし、齋尾廃寺が実際にはどのような寺院だったのか、現地に行っても現状ではわかりにくいです。そのため、このたび、復元CG映像を作成しました。まなびタウンとうはく5階にあります琴浦町歴史民俗資料館で御覧になれます。興味のある方は見に来てください。



齋尾廃寺跡
は「国宝級」



潜入！西部地区社会教育関係者研修会

平成24年6月22日（金）に鳥取県社会教育協議会主催で「西部地区社会教育関係者研修会」が日吉津村中央公民館で開催されました。その様子をレポートします。

講演「今どきの図書館を知っていますか」

鳥取県立図書館 支援協力課長 小林隆志

自己判断・自己責任型の社会が到来しています。金融においてはペイオフ。医療においてはインフォームドコンセント、セカンドオピニオン。もっと言えばインフルエンザの予防接種をうけるかどうかまで自己判断を求められています。

そのような社会状況の中で、マスコミやインターネットといった都市とあまり変わらない情報インフラはあるものの、地方には、大学、研究機関、研究者、図書館、大型書店は少なく情報貧乏といえます。そのなかで住民が、「考える」「決定する」ために必要な情報を図書館が提供できると考えています。

東日本大震災における被災地の地方新聞や市報、町報等の情報。過払い請求に関する情報、口蹄疫に関する情報、「働く気持ち応援コーナー」では資格取得や職業紹介、メンタルヘルスやキャリアデザイン等の情報提供をしています。今どきの図書館は、社会の課題に対応して活動しているということを知っていただきたいと思います。

具体的には、医療情報を含む闘病記文庫等の取り組みや産業界との連携といったことが挙げられます。また、図書館利用者は、多様であることから、活動の場として、広報・情報発信の場としても提供しています。個人の課題解決、地域の課題解決のために図書館を活用していただきたいと思います。

講演の後、社会教育主事部会、公民館主事・職員部会、文化財担当部会、人権担当部会の4つの部会に分かれて実践発表と協議を行いました。わたしは、社会教育主事部会に参加しました。大山町教育委員会の徳永貴さんが「社会教育よもやま話」と題して、13年前の社会教育の様子と現在を比較し、社会教育の担当者として変わってはいけないものについて、思いを発表されました。グループ協議は、発表を掘り下げる形で行いました。13年前と変わらない課題もあるという意見もありましたが、徳永さんの「変わってはいけないもの」は、前向きに取り組むために必要なものだと思います。（大本）

【あしがき】

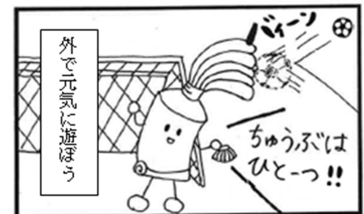
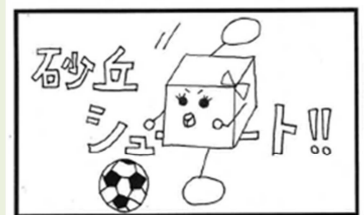
少年少女のついでで張り切りすぎたからでしょうか。3日後にギックリ腰になりました。つらかったです。みなさんも無理しないようにしましょう。

さて、来月は、東部地区社会教育関係者研修会の突撃レポートに挑戦しようと思います。お楽しみに。（大本）



講演する鳥取県立図書館小林課長

ちゅうぶくん



中部教育局

社会教育担当

電話 0858 (23) 3253

FAX 0858 (23) 5203

E-mail daimotoy@pref.tottori.jp